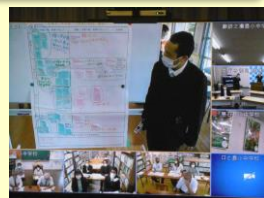


地区指定研究協力校 研究公開

7月8日(金)十島村立諏訪瀬島小・中学校にて「指導方法改善」、9月27日(火)いちき串木野市立市来中学校にて「国語科」、10月7日(金)いちき串木野市立旭小学校にて「算数科」、10月14日(金)日置市立上市来小学校にて「少人数・複式教育」、11月8日(火)十島村立小宝島小・中学校にて「指導方法改善」指定研究協力校としての研究公開が行われました。また、1月30日(月)には三島村立三島硫黄島学園の授業公開も控えています。

今年度は6校もの学校が地区指定の研究に取り組み、その成果を公開していただくことで、地区内の学校における授業改善等につながってきていると感じています。

6校の研究内容については、教育論文・教育実践記録集「波動」第34号に掲載する予定です。校内研究を見直したり、推進したりする際の貴重な資料として、どうぞ御活用ください。



【十島村立小宝島小・中学校】



【いちき串木野市立市来中学校】

日置地区文化財担当者研修会

11月16日(水)に文化財担当者を対象に現地研修等を通して資質の向上を図ることを目的に研修会を実施しました。今回は、日本最大級の出水武家屋敷群を見学しました。現存する約150戸の武家屋敷は、現在もそのほとんどが住居として使われていますが、そのうちの2つが公開武家屋敷として一般公開されていました。

その1つ「竹添邸」は、上級武士の屋敷で大河ドラマ『篤姫』のロケ地にもなっており、「税所邸」には、囲炉裏から屋外に抜けられるように掘られた抜け道があるなど、当時の生活や「外城」としての役割をうかがうことができました。今回研修で学んだことを文化財行政に生かしていきたいと思えます。



進路指導関係等（高校入試関係）

「公立高等学校入学者選抜実施要綱」に、選抜の方針が「高等学校の目的に照らし、各高等学校・学科の特色に配慮しつつ、その教育を受けるに足る能力・適性等を慎重に判定して行う」とかかれています。これを受けて、検査問題の出題は、中学校における新学習指導要領の実施を踏まえ、小学校から中学校(義務教育学校後期課程)までに習得した知識・技能及びこれらを活用して課題解決するために必要な思考力・判断力・表現力が検査できるように留意されています。中学3年生の出口を迎えるに当たって、どんな力を付けるとよいか、中校3年生の時だけではなく、小・中学校(義務教育学校)9年間を通して、考えたいものです。ですから、小学校、中学校、義務教育学校それぞれの立場から、学習指導の改善充実を図ることが重要になってきます。また、師走に入り、高校入試に関する手続き等が始まっていますが、各中学校(義務教育学校後期課程)におかれては、不備のないようにお願いします。

交通事故を起こす事例

この話は、実際に私の目で起きたことですが、右折のウインカーを出し、信号機のない横断歩道の手前で車が一時停止しており、横断歩道を子どもが歩いていました。その時です。後続車が、一時停止している車の左横を通り抜け、そのまま止まることなく、横断歩道を走り去って行ったのです。

私はそれを見た瞬間、車が通過するタイミングがあと1秒遅ければ、人身事故になったと恐怖を覚えました。後続車の運転手は、前の車は右折するために一時停止しており、横断歩道を歩いている人がいるために一時停止しているとは思ってもなかったでしょう。

ちなみに、先日受講した交通安全講習会の資料によると、信号機のない横断歩道に歩行者がいるときに一時停止する車は本県は25.5%しかいないそうです。

事故は思い込みを超えたところで発生するものです。年末年始は歩行者が増えることから、運転の際は、歩行者等に対し「思い込み」ではなく「思いやり」を持ったゆとりある運転に心掛けていただきたいと思います。その心掛けが、あなたやあなたの家族を守ります。

「やってみよう！」の気持ちをもたせる3つの場面（体育・保健体育の授業づくり）

★ 授業を行う前に、再確認してみましょう。

- 1 自己の体力・運動能力や技能について肯定的な自己評価を行わせる場面はありますか？
(導入)
- 2 仲間と協力したり、繰り返し練習したりすることによってその運動技能を高めることができるという思いをもたせる場面はありますか？
(展開・終末：他者と関わりやICT活用等)
- 3 学習に対する努力や成果について仲間や先生から認められている、受け入れられているという思いをもたせる場面はありますか？
(終末：まとめと振り返り)

県「運動大好き“かごしまっ子”」公開 ～いちき串木野市立串木野中学校研究公開～

11月9日（水），いちき串木野市立串木野中学校にて，令和3・4年度県「運動大好き“かごしまっ子”育成推進事業」推進校研究公開が行われました。

当日は2年生の球技（ゴール型：バスケットボール）の授業が公開され，生徒がタブレット等を活用してグループの課題を確認したり，学習の成果を振り返ったりするなど，意欲的に学習に取り組む場面が多く見られました。また，仲間と協働しながら試行錯誤する様子に研究の成果が表れていました。

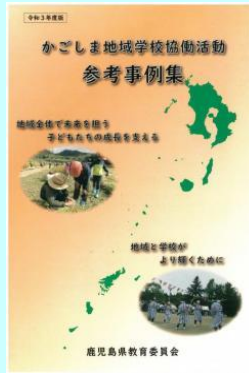


本地区の地域学校協働活動

「地域学校協働活動」とは，より多くの地域住民や団体等の参画を得て，地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに，学校を核とした地域づくりを目指し地域と学校が相互に連携・協働して行う様々な活動です。管内の2市2村では，全ての小・中・義務教育学校と地域に学校運営協議会と地域学校協働本部を設置するとともに，地域と学校をつなぐコーディネーターとして推進員を配置し，活動に取り組んでいます。

地域学校協働活動に取り組むことで，地域の素材を生かした学びや地域住民等とのふれあい活動等を通して子供たちに郷土愛やコミュニケーション能力が培われることが期待できます。また，地域住民が子供たちの学びや成長を支える活動を通して住民相互の絆が強くなり，地域の活性化も期待できます。

昨年度の取組を事例集にまとめてあります。参考にされてはいかがでしょうか。



鹿児島地区子ども会大会

12月3日（土）に，いちき串木野市市民文化センターを会場に鹿児島地区子ども会大会を実施しました。当日は，荒川太鼓の迫力ある演奏のオープニングから始まり，表彰・伝達表彰，事例発表と続き，その後子ども会会員は物づくり体験，育成者・指導者は講演に分かれて参加するという流れでした。事例発表では，どの団体も地域と連携した特色ある取組をしており，当日の参加者にとって大変参考になるものばかりでした。物づくり体験では，「ねんりんネックレス」づくりに真剣に楽しく取り組み，世界に一つだけの作品を仕上げていました。講演では，県人権同和对策課の常深氏を講師にお招きし，『「地上の星」のあなたへ～元気があれば何でもできる～』と題してお話をいただきました。そこでは，音楽を活用しながら子ども会の目的の確認，人権教育の視点に立った子供との接し方等について話をされ，参加者が真剣に聞きながら聴いているのが印象的でした。

今回の事例発表や講演等で学んだことをそれぞれの子ども会活動や自分の生き方に生かしてほしいと思います。



子ども会育成連絡協議会個人・団体表彰

- ◇ 全国子ども会連合会表彰
 - 松下 良照 氏(いちき串木野市)
- ◇ 鹿児島県子ども会育成連絡協議会表彰
 - 高橋 宏明 氏(日置市)
 - 四郎園子ども会育成会(日置市)
 - 本浦地区青少年育成部(いちき串木野市)
 - 野平地区青年育成部(いちき串木野市)
- ◇ 鹿児島地区子ども会育成連絡協議会表彰
 - 妙円寺9区子ども会(日置市)
 - 寺脇子ども会(日置市)
 - 旭地区子ども会育成会(いちき串木野市)
 - 湊町地区子ども会育成会(いちき串木野市)

交通ルールを守って安全に！

冬季休業中は登下校以外にも自転車の利用機会が増えてきます。交通ルールを守って，事故防止に努めましょう。



- 1 並進の禁止
- 2 二人乗りの禁止
- 3 夜間はライトを点灯
- 4 ヘルメットの着用
- 5 信号遵守と一時停止・安全確認

呼吸。体内に酸素を取り入れ、生じた二酸化炭素を体外に出す作用。生命維持に欠かせない。AEDを使った心肺蘇生法の講習会でも、心肺停止の場合約一分経過する毎に七〜十％ずつ社会復帰率が低下するので、一刻も早い心肺蘇生が必要だと教わる。

この呼吸にもう少し意を用いることで、私たちの生活はもっとよくなるらしいので、ここに記しておきたい。

まず、テレビの情報番組から。心身共に健康になるためには、呼吸を深くして、その回数を減らすとらしい。そうすると扁桃腺が鎮静化し副交感神経を通じて心拍数が低下、血管拡張が起こり、血流がよくなると凝りや冷え症、不安やストレスの解消が期待できるそう。そこで私はこんなことを始めた。湯舟の中で一吸って二で吐く呼吸をゆっくりゆつたりと、五十まで数えながら行うのだ。大切なのは、マインドフルネスで重視されている「今、こゝ」の呼吸に意識を向けること。耳までお湯に浸かって行くと、周りの音が聞こえづらくてくるので、やり易くなる。また、毎日継続できる習慣化しやすい。自分の呼吸と向き合う、私の好きな時間の一つである。

次に、呼吸は自己肯定感の向上にも関わりがあるらしい。ある本によると、過呼吸で悩んでいた方が、不安なときには柑橘系のアロマオイルの香りを嗅ぐようにしたところ、少しづつ気持ちが落ち着いていったそう。このことについて、次のように書かれている。

過呼吸への不安や恐怖は、まだ起こっていない未来に意識を向けることで起こっていません。これを乗り越えるためには、未来ではなく「今」に意識を向けることが必要です。柑橘系の香りが「今」に意識をよめる手助けとなり、「いい香り」に集中することで気分を不快な感情状態から快の感情状態へと変えてくれました。――(※)

二つの事例に共通するのは、「呼吸」により自己の「今」に通じ合うことである。過去を振り返り未来に想いを馳せることも無意味重要だが、その狭間にある「今」を、尊いものとして肯定する、これが重視されているのだ。学校でも子どもの「呼吸」と「今」に関心を寄せると、大切な事が見えるかもしれない。

(※)「自己肯定感の教科書」中島輝 S B クリエイティブ

涼風

指導課長 山鹿 真人